一般質問
（要旨）

昭島駅北側のまちづくり 肺炎球菌予防接種の改善を

日本共産党昭島市議団　佐藤　文子　議員

質問　昭島駅北側エリアの開発計画について、開発事業者による説明会の際には、疑問と不安の声が相次いだ。①計画概要について、市の見解は。②都市計画マスタープランなど、市の計画を理解した上での開発計画となっているのか。③当該地について、一定の制限を設けていくことが必要では。④市のまちづくりの観点として、全ての市民が快適・安全・健やかに生活できることを基本とする考え方に変わりはないのか。

答弁　①緑量の変化や交通量の増加に伴う諸問題について、大変危惧している。②開発計画の詳細が不明であるため、現時点では言及できない。③開発事業者と地区計画の策定について、協議する必要があると考えている。④開発事業者には、市民の意見を聞いて開発内容を考えるよう伝えており、一定の考え方は変わらない。

質問　人間尊重のまちづくりを進めるため、①市民の人権意識を発展させていくことが重要である。制度改善に向け、大きく踏み込んだ取り組みをすべき。②生活保護行政の改善と拡充が必要では。

答弁　①正しい知識の理解と人権尊重意識の普及啓発のための取り組みを着実に進めていきたい。②自立に向けた援助が適正に行われる生活保護業務の実施に努めていく。

「子育てしやすいまち・昭島」の実現に向けて

公明党昭島市議団　松原　亜希子　議員

質問　「子育てしやすいまち・昭島」の実現に向けて、①高校生の医療費助成について、都が令和5年度から3年間市区町村に全額補助すると発表があった。子育て世代の経済的負担軽減のため、実施する考えは。②母子健康手帳に極低出生体重児を対象とした発育曲線や18歳までの記載欄を追加し、充実させる考えは。

答弁　①都の制度の詳細がまだ明らかになっていないが、市長会として都と協議し、しっかり対応していきたい。②国の動向を注視し、どのような取り組みが可能となるのか検討を進める中で、充実に努めていきたい。

質問　命の大切さを考える取り組みについて、①小学校3校で助産師による授業を実施し、性に対する教育の取り組みを進めているが、この授業を市内の全小中学校で実施できるよう推進する考えは。②保護者の性に対する知識を深めるため、保護者も子どもと一緒に授業を受けられるようにする考えは。

答弁　①教育課程に基づき校長の判断により実施していることから、実施した学校の授業内容や子どもたちの様子などを校長会と教育委員会で情報共有を図っていく。②どのような対応が可能か、学校とも相談する中で研究していく。

質問　糖尿病の重症化を予防することは、健康寿命を延ばすために重要である。糖尿病の早期発見のため、糖尿病リスク予測ツールの活用やアルブミン尿検査を実施する考えは。

答弁　他自治体等の取り組みを参考としつつ、医師会とも調整を図る中で、どのような取り組みが可能となるのか検討していく。

たんぽぽ　ふ～っ。
（多摩川沿い）

昭島駅北側の大規模開発の影響について

無会派　ゆざ　まさ子　議員

質問　昭島駅北側の大規模開発について、①みどり率の低下、トラックによる騒音や排気ガスの問題、深層地下水への影響など住環境への影響について、対応は。②交通量の増加が懸念される。影響のある周辺自治体とも情報共有を図るべきと考えるが、対応は。

答弁　①都環境影響評価条例に基づき、開発事業者において影響評価を行い、対策を講じることとなる。市では、評価等の内容を十分に確認し、必要な意見を述べていく。②周辺自治体と情報共有を図ることは必要と考える。

質問　新型コロナウイルス感染症による影響について、①休園や休校等の際、子どもの代替の預け先として都（流産や死産等）支援について、産後ケア事業の周知啓発、死産届提出の際の窓口対応の向上、相談窓口等の必要な情報をおくやみハンドブックや市ホームページへ掲載するなどの対応を図るべき。

答弁　メンタル面や体調面の専門的なケアを提供できる体制は確保しており、心情に寄り添った窓口対応に努めている。今後は、職員への研修や必要な情報の提供について検討していく。

校現場では、余っているキットを医療機関に提供するように都より通知があった。保育園等においては、施設間で融通し不足はなかった。

質問　ペリネイタル・ロス

昭島の魅力を再発見できる取り組みについて

公明党昭島市議団　渡辺　純也　議員

質問　施政方針に掲げる笑顔あふれる楽しいまちの実現のためには、昭島の魅力を再発見できる取り組みが必要と考える。①生活圏を観光するマイクロツーリズムは、地域経済の活性化も図ることができる取り組みである。推進していくべき。②ロケで使われた場所を広く市民に公開する考えは。③幅広く昭島の魅力を発信できるよう、アキシマクジラのレプリカや市長のフィギュアなどが入ったあきしまガチャを作成してみては。

答弁　①多くの方がマイクロツーリズムに関心が向けられるよう、他市の取り組みなどを参考に、観光まちづくり協会とともに検討していきたい。②昭島ロケーションサービスでは、インスタグラムなどでロケ情報を発信している。協会等と連携し、観光ルートの開発や効果的な発信方法を検討していく。③ちかっぱーガチャを作成したところ、これまで972個の売り上げがあり、観光案内所の利用促進にもつながった。幅広い昭島の魅力を発信できるガチャの作成については、協会と連携し研究していきたい。

質問　命を慈しむ心を大切にするという道徳心が育まれれば、動物愛護だけでなく、いじめ、虐待、戦争、犯罪を減らすことに大きく関与できると考える。①市内の小中学校で、道徳授業の一環として「命の授業」の実施を検討すべき。②市役所ロビーやアキシマエンシスなどで、命の大切さを考える写真展を実施しては。

答弁　①命の授業の内容などを調査する中で、どのような対応が可能か研究していく。②毎年度開催している環境パネル展等での展示について検討していきたい。

5面下段より

機フッ素化合物に関する全井戸水質調査の実施については、強く求めたい。

後期高齢者医療特別会計

反対
日本共産党昭島市議団
荒井　啓行　議員

後期高齢者医療制度は、75歳という年齢で国民を線引きし、別の医療保険に強制加入させる制度である。

東京都後期高齢者医療広域連合は、２０２２、２０２３年度の保険料を均等割額で２千300円、所得割率で0.77ポイントの引き上げを決定した。また、今年10月から一定以上の所得がある後期高齢者の窓口負担が1割から2割になるという問題がある。

本制度は、高齢ゆえにかかる高額の医療費負担まで、高齢者だけに負わせる差別制度である。

国の国庫負担を増額し、更なる高齢者医療制度の拡充が必要であることを指摘し、本予算に反対する。

賛成
自由民主党昭島市議団
金井　悦子　議員

東京都後期高齢者医療広域連合が保険料増加抑制対策の継続実施を決定したことにより、均等割額を年額で２千300円の増額と引き上げ幅を最小限に抑えるとともに、所得割率も0.77ポイントの引き上げと上昇率を抑制することができた。

また、予算編成においては、歳入における保険料や一般会計繰越金、歳出における広域連合納付金など、必要な経費の適切な計上が図られている。

引き続き、医療費適正化事業の推進を図る中においても、高齢者が安心して医療を受けることができる環境の維持向上にしっかりと取り組むことを願い、本予算に賛成する。

施策の展開にあたって、市民に十分意見を聞き、市民との合意に最大限の配慮を求め、本予算に賛成する。

昭島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例を可決とする委員長報告について

反対
日本共産党昭島市議団
荒井　啓行　議員

本条例は、常勤職員を中心とした公務運営の原則が、崩されている実態を追認し、更に固定化するもので、住民の暮らしに密着した仕事を非正規職員に担わせることを正当化するもの。

市は「業務の増大で正規職員確保に課題」とフルタイム会計年度任用職員の導入の理由を説明するが、市民の命と暮らしや権利を守る職員を、会計年度任用職

7面下段へ続く